

漁業・水産業のビジネスサポーター

 ニチモウ株式会社

2023年3月期  
第3四半期決算短信  
補足説明資料

2023年2月10日



8091

東証プライム市場



ニチモウ株式会社

# 2023年3月期第3四半期決算

# 2023年3月期3Q決算：営業利益は期初計画を上回る

売上高：1,013億円  
(前年同期比+11.0%)

機械事業は大型案件一巡で減収も、食品・海洋事業が牽引し  
二けた増収

営業利益：29億円  
(同△10.2%)

機械事業での大型案件一巡で、全体では前期比減益に  
食品事業は原価高騰の影響を受けたが利益は安定  
海洋事業は養殖餌料販売が順調で増益

(単位：百万円)	2022年 3月期3Q	構成比 (%)	2023年 3月期3Q	構成比 (%)	前年同期比 (%)	2023年3月期予想 (2022年5月予想)
売上高	91,296	100.0	101,342	100.0	+11.0	120,000
売上総利益	9,255	10.1	9,254	9.1	△0.0	—
販売費及び 一般管理費	5,974	6.5	6,307	6.2	+5.6	—
営業利益	3,280	3.6	2,947	2.9	△10.2	2,600
経常利益	3,572	3.9	3,293	3.3	△7.8	3,100
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,575	2.8	2,314	2.3	△10.1	2,200

# 事業別増減分析(前年同期比):食品・海洋事業が牽引し大幅増収

## 食品・海洋事業が牽引し大幅増収、機械事業は大型案件一巡で減収減益

(単位:百万円)		2022年 3月期3Q	構成比 (%)	2023年 3月期3Q	構成比 (%)	前年同期比増減
全体	売上高	91,296	100.0	101,342	100.0	+10,045
	営業利益	3,280	—	2,947	—	△333
食品	売上高	59,374	65.0	69,287	68.4	+9,913
	営業利益	2,448	58.4	2,434	62.3	△13
海洋	売上高	14,087	15.4	15,106	14.9	+1,018
	営業利益	355	8.5	517	13.3	+162
機械	売上高	9,090	10.0	8,055	7.9	△1,034
	営業利益	928	22.1	599	15.3	△328
資材	売上高	6,544	7.2	6,673	6.6	+129
	営業利益	350	8.4	356	9.1	+6
バイオティックス	売上高	267	0.3	245	0.2	△22
	営業利益	45	1.1	17	0.4	△28
物流	売上高	1,857	2.0	1,893	1.9	+35
	営業利益	10	0.2	△55	△1.4	△65
その他*	売上高	74	0.1	80	0.1	+6
	営業利益	55	1.3	38	1.0	△16
全社費用		△912	—	△961	—	△49

\*その他は、不動産賃貸業など。営業利益構成比は、全社費用控除前。

# 貸借対照表（要約）

- ・ 年末商戦の旺盛な水産物需要対応で「売掛金」・「買掛金」ともに大幅増加
- ・ 原材料価格高騰により「商品及び製品」も増加
- ・ 設備投資や金利上昇に備えて債務は長期化

(単位：百万円)	資産の部		(単位：百万円)	負債・純資産の部	
	2023年3月期3Q	前期末増減		2023年3月期3Q	前期末増減
<b>流動資産</b>	<b>69,758</b>	<b>+ 16,740</b>	<b>流動負債</b>	<b>51,935</b>	<b>+ 9,269</b>
現金及び預金	9,757	+ 3,604	支払手形・買掛金	18,100	+ 4,722
受取手形・売掛金	28,232	+ 9,698	短期借入金	27,517	+ 6,080
商品及び製品	24,793	+ 2,536	<b>固定負債</b>	<b>17,580</b>	<b>+ 5,447</b>
<b>固定資産</b>	<b>22,861</b>	<b>+ 1,070</b>	<b>純資産</b>	<b>23,232</b>	<b>+ 3,166</b>
有形固定資産	9,621	+ 346	株主資本	20,183	+ 2,469
無形固定資産	795	+ 70	その他包括利益計	3,022	+ 808
投資その他の資産	12,444	+ 653	<b>負債・純資産合計</b>	<b>92,748</b>	<b>+ 17,884</b>
<b>資産合計</b>	<b>92,748</b>	<b>+ 17,884</b>			



ニチモウ株式会社

# 2023年3月期業績見通し

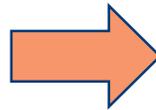
期初見通しに比べて原価や資材・物流コスト高騰、カニの相場下落による在庫評価減や水産加工など成長事業の投資負担が影響したものの、早期にリスクヘッジしたことが奏功し年末商戦の販売が堅調、設備投資した紋別事業(ヤマイチ水産新工場)の魚粉増産および海洋事業の養殖餌料の販売増により、通期利益は一定レベルまで確保

## 食品事業は買付シーズンに突入

- 年末商戦は早期にリスクヘッジ(カニ在庫評価損を計上)したことにより販売堅調
- 4Qから買付シーズン突入し仕入先行による先行投資で例年同様、収益性は3Qよりも悪化

## 水産物安定供給体制の整備

- 魚粉（フィッシュミール）需要増により大型設備投資したヤマイチ水産で増産



## 原材料価格等の高騰への対応

- 一部商材では販売に転嫁
- 駆け込み需要による反動減

## 養殖餌料販売に貢献

- 海洋事業の養殖部門の餌料販売増に貢献

増収減益は変わらずも、3Qまでの実績を踏まえて上方修正へ

外食・インバウンド需要が想定通り回復すれば、業績面でプラス要素

## 3Qまでの実績を踏まえて通期見通しを上方修正へ

**売上高：1,250億円（期初計画比+4.2%）、営業利益：29億円（同+11.5%）**

売上高：期初の想定通りも、円安に伴う輸入水産物価格の高騰等による一部商品の販売価格転嫁が幅広く進み大幅増収へ

営業利益：①魚粉需要増により大型設備投資したヤマイチ水産新工場で増産体制に入り、海洋事業の養殖餌料販売増となり減益幅の抑制に貢献

②食品事業は4Qから買付シーズンに突入し仕入が先行  
（期末の相場変動対応も織り込み済）

③大型案件が一巡した機械事業は来期案件獲得に向けてマーケティング先行投資へ

（単位：百万円）	2022年3月期	2023年3月期 期初計画	2023年3月期 修正計画	対期初計画比 増減	対期初計画 増減率(%)
売上高	115,469	120,000	125,000	+ 5,000	+ 4.2
営業利益	3,201	2,600	2,900	+ 300	+ 11.5
経常利益	3,611	3,100	3,400	+ 300	+ 9.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,754	2,200	2,400	+ 200	+ 9.1

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記載は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。また、本資料の著作権を含む一切の権利はニチモウ株式会社に帰属します。

IRに関するお問い合わせ  
ニチモウ株式会社 総務部IR担当  
E-mail : [ir@nichimo.co.jp](mailto:ir@nichimo.co.jp)  
TEL : 03-3458-3020

2023年2月10日